

サッカー一部7選手が



進路先のユニホームを着て撮影に応じた、左から三島、池谷、瀧美、早坂、石井、久保各選手



矢島選手 (写真提供：FC東京)

Jリーグなど入団



中央大学サッカー部は1月16日、Jリーグなどへ7選手の入団が内定したと発表した。

全日本大学選抜メンバーのFW矢島輝一選手がFC東京入りするなどJリーグへ4人、関東リーグなどへ3人。昨年の3人を上回った。

記者会見は同日、中大多摩キャンパスで行われた。東京・八王子市出身で地元クラブ、FC東京のキャンプに参加中の矢島選手は収録映像で登場。「小さい頃から夢だったプロのサッカー選手になれて良かった」と笑顔で話した。大学3～4年は全日本大学選抜入りした。期待のFWだ。

会見場の6選手はカメラの放列を前にして、緊張した表情で決意表明。

MF三島選手(FC岐阜)「小さい頃からプロサッカー選手になることが夢でした。地元(岐阜)でプロ生活をスタートできるのがうれしいです。開幕スタメン、全試合出場を目指します」

FW池谷選手(ロアッソ熊本)「熊本地震で今も苦しんでいる人たち全員に活力を持ってもらえる

ようなプレーをしたい。運動量では負けません」

MF渥美選手(アスルクラロ沼津)「地元静岡に戻れてうれしいです。中大でフィジカルを学びました。僕の特徴でもあります。守備をしっかりとしていきたい。ミドルシュートも見たい」

MF早坂選手(いわきFC=福島県社会人1部リーグ)「中大の仲間や家族のためにもどんどん成長していきたい。いわきFCは90分間、レベルの高いハードワークをします。そこに入り、今までなかった自分を見つけない。正確なパスとハードワークをレベルアップします」

MF石井選手(プリオベッカ浦安=関東リーグ1部)「浦安は攻撃的サッカーをしています。自分がフィットできる環境です。チームのために全身全霊で戦います」

MF久保選手(VONDS市原FC=関東リーグ1部)「地元チームでサッカーができることに感謝

します。チームのJFL昇格に貢献したい。プレーではチャンスをつくりたい」

今回目立ったのは地元でプレーする選手が5人いることだ。5選手は地元のさらなる発展や復興に励む人々へ、サッカーを通じて参加する強い意思を示した。

Jリーグが『100年構想』として掲げた「地域密着」「スポーツでもっと豊かな国へ」との考え方が浸透しているようだ。

手塚聡監督は「多くの人にかわいがってもらえるよう、中大の誇りを胸に一日一日を大切にしてほしい」とエールを送った。

選手たちはインタビュー終了後、進路先のユニホームを着て写真撮影に応じた。引き締まった顔にはサッカーを職業とし、社会に貢献する自覚がみとれた。

今季開幕はJ1が2月24日、J2が2月25日、J3が3月1日。ワールドカップ(W杯)ロシア大会は6月14日から始まる。

■中央大学サッカー部選手7人の進路先とプロフィール

名前	学部	身長	体重	ポジション	進路先	全日本	関東	国際
矢島輝一	商4	186	78	FW	FC東京	○	○	
三島頌平	商4	176	72	MF	FC岐阜		○	
池谷友喜	商4	163	60	FW	ロアッソ熊本			
渥美瑛亮	経4	173	65	MF	アスルクラロ沼津			
早坂 翔	経4	172	66	MF	いわきFC		○	
石井 光	経4	165	62	MF	プリオベッカ浦安			○
久保匠吾	経4	177	80	MF	VONDS市原FC			

(注) ポジはポジション、全日本は全日本大学選抜、関東は関東選抜、国際は「ピンスオンテレビ国際サッカートーナメントナバーワンカップ2015」大学選抜



中大サッカー部の2017年シーズンは関東大学リーグ2部の3位(参加12校)。総得点では2位チームを上回っていた。1部昇格できる準優勝以上へ、今季はいつもの期待が高まる。